

中期経営計画「MCP 2/3」

新中期経営計画「MCP 2/3」は、10年間の長期ビジョン「MCP（Musashino mirai-Creation Plan）」の実現に向けて、当行グループを取り巻く外部環境や埼玉県の現状などを踏まえ抽出した、5つの取組むべき重要課題（マテリアリティ）と、前中期経営計画「MCP 1/3」で認識した課題を解決するための実行戦略として策定しました。

「MCP 2/3」の各種施策の遂行により、重要課題解決のための取組みを通じた社会価値と、当行自身が生み出す経済価値の双方を創出し、当行グループの更なる企業価値の向上を目指します。

I「MCP 2/3」の位置付けと概要

前中期経営計画「MCP 1/3」は3年間で「将来への強固な基盤づくり」に取組んでまいりましたが、新中期経営計画「MCP 2/3」は、地域とお客さまの課題を解決する最良のパートナーとして「確固たる存在感」を確立する期間と設定し、計画期間は4年間としました。

「MCP」Musashino mirai - Creation Plan

長期ビジョン＞多彩な価値を結集し、地域No.1のソリューションで埼玉の未来を切り拓く



戦 略	未来を創るパートナーとしての地位の確立		価値創出の源泉となる基盤の確立	
	基本戦略Ⅰ	基本戦略Ⅱ	基本戦略Ⅲ	
	価値共創コンサルティングへの深化 ・法人分野 ・デジタル ・個人分野 ・グループ	埼玉の新たな価値創出への貢献 ・地域活性化 ・サステナビリティ	未来を支える経営基盤の強化 ・DX（業務効率化） ・人材、DE&I ・アライアンス ・ガバナンス	
目指す水準（4年後）	ROE（連結）／ 10%以上	親会社株主に 帰属する当期純利益／ 300億円以上	コア業務純益／ 400億円以上	コアOHR（単体）／ 55%以下

中期経営計画「MCP 2/3」

I 3つの基本戦略

3つの基本戦略は、「MCP 1/3」で構築した基盤のもと、各種の取組みをもう一段階高い次元へと引き上げることを目的として立案されています。

あわせて、戦略ごとに「MCP 2/3」完了時点（4年後）の『目指す姿』を設定し、バックカスティングとフォアカスティングの双方の考え方にに基づき、主要施策の検討を行いました。

また、各戦略には、進捗及び達成状況を把握するための指標を設定しており、「MCP 2/3」の実効性を高めています。

戦略	「MCP 2/3」で 目指す姿	参照頁	主な指標	関連する重要課題 (マテリアリティ)
基本戦略Ⅰ 価値共創 コンサルティング への深化	未来に向けて共に価値を 創り出すパートナーとして、 当行の確固たる 存在感の確立を目指します	p25-32 ▶	〈法人分野〉 ● ストラクチャードファイナンス残高 2,500億円以上 ● 事業承継、M&A 受託 累計700件以上 ● 創業、スタートアップ支援 累計6,000件以上 〈個人分野〉 ● 遺言信託受託件数 2,000先以上 ● コンサルティング契約先数 2,000先以上 ● アプリ利用者数 累計60万先以上	地域経済の 持続的発展
基本戦略Ⅱ 埼玉の新たな 価値創出への貢献	埼玉の暮らし・文化・自然など 多彩な魅力を向上させる 中心的存在として、 確固たる存在感の 確立を目指します	p33-41 ▶	〈地域活性化〉 ● まちづくり貢献 ● コミュニティ共創 〈地域産業の好循環創出〉 ● 官民連携 行政等と連携した支援 課題解決の協働先 共創ネットワーク等 製造業高度化 農業課題解決 〈サステナビリティ〉 ● GHG排出量 ▲100%（2013年度比） ● Scope 3 削減 ▲40%（2024年度比） ● 生態系保護に資するPJ 累計50件実行 ● 金融経済教育受講者 累計5万人	サステナブルな 地域社会の実現 地域の自然環境の 持続的な 保全と利用
基本戦略Ⅲ 未来を支える 経営基盤の強化	強固な経営基盤を 将来に向けた価値創出の 源泉として更に強化し、 未来を支える基盤として 確立します	p42-71 ▶	〈人材・DE&I〉 ● 1人当たり人材投資額 42万円以上 ● キャリア採用行員数 累計200名程度 ● 成長実感スコア 90%以上 ● エンゲージメントスコア 80%以上 ● DE&Iスコア 90%以上 ● 女性管理職比率 30%以上	多彩な人材の 活躍推進 レジリエントな 企業統治と 組織体制の構築

中期経営計画「MCP 2/3」

I 収益計画の全体像

「MCP 2/3」では、リスクアセットの積み上げと適切な資本運営を通じて、更なる企業価値の向上を目指します。

